

公立大学法人宮崎公立大学
令和5年度業務実績に関する評価結果

令和6年8月

宮崎市公立大学法人評価委員会

目次

1	評価方法	…	3
2	全体評価	…	6
3	項目別評価	…	12
	(1) 教育に関する目標	…	12
	(2) 研究に関する目標	…	14
	(3) 地域貢献に関する目標	…	15
	(4) 国際化に関する目標	…	16
	(5) 業務運営の改善及び効率化に関する目標	…	17
	(6) 財務内容の改善に関する目標	…	19
	(7) 自己点検・評価及び情報公開・提供に関する目標	…	21
	(8) 大学改革に関する目標	…	22

1 評価方法

宮崎市公立大学法人評価委員会は、公立大学法人宮崎公立大学（以下、「公立大学法人」という。）が作成した業務実績報告書を基に、公立大学法人の意見を聴取し、下記のとおり評価を行った。

(1) 評価の構成

「項目別評価」と「全体評価」による。

(2) 項目別評価の方法

中期目標に掲げる8つの大項目ごとに、以下の5段階により、実施状況を評価する。なお、特筆すべき点や遅れている点については、取組の概要を記述する。

(中期目標に掲げる8つの大項目)

- ①教育に関する目標 ②研究に関する目標 ③地域貢献に関する目標
- ④国際化に関する目標 ⑤業務運営の改善及び効率化に関する目標
- ⑥財務内容の改善に関する目標
- ⑦自己点検・評価及び情報公開・提供に関する目標 ⑧大学改革に関する目標

(評価基準)

評価	判断の目安
S 中期計画の進捗は 優れて順調	・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が4.3以上であり、かつ、顕著な実績や特に優れた成果があると評価委員会が認める場合
A 中期計画の進捗は 順調	・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が3.5以上4.2以下であり、かつ、評価委員会が「A」評価と認める場合 ・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が3.5以上4.2以下に満たないが、取組内容や実績、成果等を総合的に勘案して評価委員会が「A」評価相当と認める場合
B 中期計画の進捗は 概ね順調【標準】	・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が2.7以上3.4以下であり、かつ、評価委員会が「B」評価と認める場合 ・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が2.7以上3.4以下に満たないが、取組内容や実績、成果等を総合的に勘案して評価委員会が「B」評価相当と認める場合
C 中期計画の進捗は やや遅れている	・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が1.9以上2.6以下であり、かつ、評価委員会が「C」評価と認める場合 ・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が1.9以上2.6以下に満たないが、取組内容や実績、成果等を総合的に勘案して評価委員会が「C」評価相当と認める場合
D 中期計画の進捗は 著しく遅れている	・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が1.8以下である場合

(個別記載事項ごとの評価)

項目ごとの評価を実施するため、年度計画の個別記載事項ごとに、以下の5段階の達成度により評価し、中期計画の個別記載事項ごとにあらかじめ設定された難易度・重要度から評点を算出する。なお、個別記載事項に複数の取組や事業（定量的指標を含む）が位置付けられている場合には、取組や事業毎に評価を行い、平均値を当該個別記載事項ごとの達成度とする。

達成度	判断の目安
V 年度計画を予定よりはるかに上回って実施している	<ul style="list-style-type: none"> ・年度計画における所期の目標を上回る顕著な実績や特に優れた成果が得られている ・定量的指標においては達成度が目標値の120%以上
IV 年度計画を予定より上回って実施している	<ul style="list-style-type: none"> ・年度計画における所期の目標を上回る実績や成果が得られている ・定量的指標においては達成度が目標値の110%以上120%未満
III 年度計画を予定どおり実施している【標準】	<ul style="list-style-type: none"> ・年度計画における所期の目標を達成している ・定量的指標においては達成度が目標値の90%以上110%未満
II 年度計画の実施状況が予定を下回っている	<ul style="list-style-type: none"> ・年度計画における所期の目標を下回っており、改善を要する ・定量的指標においては達成度が目標値の60%以上90%未満
I 年度計画の実施状況が予定を著しく下回っている	<ul style="list-style-type: none"> ・年度計画における所期の目標を下回っており、抜本的な改善を要する ・定量的指標においては達成度が目標値の60%未満

(評点の算出方法)

達成度	I	II	III	IV	V
難易度・重要度	年度計画の実施状況が予定を著しく下回っている	年度計画の実施状況が予定を下回っている	年度計画を予定どおり実施している【標準】	年度計画を予定より上回って実施している	年度計画を予定よりはるかに上回って実施している
D 1	3	3	4	5	5
D 2	2	3	4	4	5
D 3	1	2	3	3	4

(難易度・重要度の考え方と第三期中期計画における設定)

難易度 ・重要度	定義	第三期中期計画における設定
D 1	設立団体である市の重要施策と関連する取組や国の施策・動向に関連する取組	[6] 優秀な学生の確保と県内出身者の入学促進 [7] 就職・キャリア支援と県内企業の認知度向上
D 2	公立大学法人並びに大学の業務遂行及び管理運営の改革・改善に資する取組	[3] 他機関から講師等を招いて実施する授業や学習活動 [4] 地域での体験学習や学外学習活動 [17] 地域の政策課題・産業界のニーズに即した研究・教育活動の展開 [26] 優秀で多様な教職員の確保と評価制度の導入・実施
D 3	公立大学法人並びに大学の業務遂行に係る一般的な取組	上記以外

(3) 全体評価

「項目別評価」の結果を踏まえ、公立大学法人の業務全体の実績評価について、記述式により、年度計画を総括する。特に、地域の高等教育機関として更に発展するために、大学の特色ある取組や様々な工夫について積極的に評価し、記述するとともに、必要に応じて組織や業務の課題や改善点等も記述する。

2 全体評価

公立大学法人は、平成 19 年度の公立大学法人化以降、主体的・自律的な大学運営に努めている。

令和 5 年度は、公立大学法人の設立者である宮崎市が平成 30 年 9 月に定め、公立大学法人へ指示を行った第三期中期目標（目標期間：平成 31 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで）の達成に向けて、52 項目の計画に取り組んだ。

評価委員会において、公立大学法人の作成した業務実績報告書をもとに、公立大学法人の意見を聴取しながら、各計画の業務実績について評価を行った結果、後述のとおり中期目標に掲げる 8 つの項目中、1 つの項目で中期計画の進捗は順調、7 つの項目で中期計画の進捗は概ね順調であると判断した。

このことから、令和 5 年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体として概ね順調に進捗していると評価する。

なお、令和 5 年度の業務実績のうち特色や工夫ある大学の取組として、以下を確認したところであり、今後も地域の高等教育機関として更なる発展に取り組まれない。

教育に関する目標

[6] 優秀な学生の確保と県内出身者の入学促進

・年度計画〈6〉実施事項（ア）

優秀な学生の確保と県内出身者の入学促進のための、高等学校及び受験者に対する新入学者選抜に基づいた入試制度の周知・広報については、優秀な学生の確保に向け、新入学者選抜及び令和 7 年度以降の入学者選抜に関する変更点について、周知・広報を行い、その定着に努められている。

特に令和 5 年度は、春季・秋季にそれぞれ県内全ての高等学校を訪問し、更なる周知・広報に努められた。

また、オープンキャンパスに関しては、他大学でも活発なオープンキャンパスが展開されている中、前年に比べて参加者が増加するなどの成果が見られている。

このような優秀な学生の確保と県内出身者の入学促進に向けた積極的な取組は評価できる。

[7] 就職・キャリア支援と県内企業の認知度向上

・年度計画〈9〉実施事項（ア）（イ）

就職・キャリア支援と県内企業の認知度向上のための、県内企業の魅力を伝えるガイダンス等の実施については、学生の進路希望の実現に向けた取組として、部会活動や企業へのアプローチ、セミナーの開催など、企画・実施・評価・見直しが各段階で着実に実施され、参加企業、参加学生数ともに増加する結果が得られている。

コロナ禍を経て若者の志向が変化する中、このような県内企業の認知度向上に寄与する取組は評価できる。

・年度計画〈10〉実施事項（ア）

就職・キャリア支援と県内の認知度向上のための、教育的効果の高いインターンシップの企画・運営については、「プロジェクト・インターンシップ」において、連携企業の新規開拓に努められ、18社と連携する成果が得られており、また、丁寧なマッチングにより学生の満足度についても高い結果が得られるなど、学生のキャリア形成を積極的に支援する姿勢がうかがえた。

このような、公立大学ならではの地域に根ざした教育効果の高いインターンシップに関する取組は評価できる。

今後も継続、拡大を期待する。

[11] 経済的支援の充実及び「授業料減免及び給付型奨学金」への対応

・年度計画〈14〉実施事項（イ）

経済的支援の充実及び「授業料減免及び給付型奨学金」への対応のための、広報・周知及び課題の改善については、「授業料減免及び給付型奨学金（修学支援新制度）」に関する説明会の実施や、奨学金が廃止となるおそれのある学生との面談を実施するなど、積極的な支援に努められた。

このような取組は評価できるものであり、今後も経済的に修学が困難な学生に寄り添った取組を期待する。

地域貢献に関する目標

[18] ニーズに即した生涯学習事業の推進

・年度計画〈21〉実施事項（ア）

ニーズに即した生涯学習事業の推進のための、各種公開講座の実施については、対面やオンラインにより、目標値を上回る件数の講座を開講し、多くの受講者を得た。

このような地域貢献につながる積極的な取組は評価できる。

[19] 地域の多様な学習ニーズに対応したリカレント教育の推進

・年度計画〈22〉実施事項（ア）（イ）

地域の多様な学習ニーズに対応したリカレント教育の推進のための、「ホテル接客英語講座」及び「サービス業従事者のための接客韓国語講座」の実施及びアンケートの結果等を踏まえた見直しについては、講座後に受講者アンケートに加え、受講者が所属する企業等へのヒアリングも実施しており、地域における多様な学習ニーズに的確に応える姿勢がうかがえる。

このような積極的かつ工夫のある取組は評価できるものであり、今後も幅広く、多様なニーズに応える活動に努められたい。

国際化に関する目標

[21] 新たな海外協定校の開拓

・年度計画〈23〉実施事項（ア）

新たな海外協定校の開拓のための、公費派遣留学全体の見直しについては、令和4年度公費派遣留学生から提出された帰国報告書をもとに、問題点や課題を分析し、より学生のニーズやレベルにあったプログラムを提供できる協定校を開拓し、基本合意に至った。

このような工夫ある取組は評価できる。

[22] 留学生の受入れプログラムの充実

・年度計画〈24〉実施事項（ア）

留学生の受入れプログラムの充実のための、改善策の検討については、コロナ禍以降4年ぶりとなる実地研修の実施に当たり、過去のプログラム内容の見直しを行い、授業内容が学生のレベルに沿った内容となるよう努めた。

このような工夫ある取組は評価できる。

[24] 市内の小・中学校等の教育機関と連携した教育研究活動

・年度計画〈26〉実施事項（ア）（イ）

宮崎市内の小中学校等と連携した教育活動等の実施については、「外国語での読み聞かせ活動」や宮崎商業高校へ韓国文化研究部の学生を派遣しての「初級韓国語講座」の実施など、地域の国際化に向けた取組を実施した。

学校教育における国際交流、国際理解教育等の必要性が増している中、このような取組は評価できるものであり、より一層の取組を実施されたい。

業務運営の改善及び効率化に関する目標

[25] 適切な意思決定と組織及び業務運営の改善

・年度計画〈27〉実施事項（ア）

適切な意思決定と組織及び業務運営の改善のための、学内会議の開催及び部会等組織の見直しについては、認証評価や本学の教育研究活動等の改善を継続的に行う仕組みに関する事等を所掌事務とする「内部質保証推進会議」の下に、更に機動的に検討を行うための組織として「教学マネジメント委員会」を設置し、教職員一体となった体制作りを実施している。

このような工夫ある取組は評価できる。

財務内容の改善に関する目標

[33] 安定的な志願者及び入学者の確保

・年度計画〈41〉実施事項（ウ）

安定的な志願者及び入学者の確保のための、県内高校訪問の実施については、春季・秋季にそれぞれ県内の全ての高校を訪問し、宮崎公立大学の魅力や特長を伝えるとともに、令和5年度入試結果に関する説明や、意見交換、令和7年度からの入試の変更点等の説明を実施するなど、高校現場に足を運び、きめ細かな説明・広報活動を実施している。

このような丁寧な取組は評価できる。

自己点検・評価及び情報公開・提供に関する目標

[38] 法人評価と認証評価を通じた改善活動

・年度計画〈49〉実施事項（ア）

法人評価と認証評価を通じた改善活動については、教学マネジメント推進のため、教職員一体となった体制作りを実践していることに加え、次期認証評価を見据えた自己点検評価への取組に着手するなど、認証評価結果に対して、学長のリーダーシップのもと適切かつ迅速な対応に努めている。

このような積極的かつ工夫のある取組は評価できる。

また、令和5年度業務実績のうち、以下のとおり課題や取組の進展が期待される事項を確認したため、今後の取組に当たって参考にされたい。

教育に関する目標

[2] 外国語によるコミュニケーション能力の育成

・年度計画〈2〉実施事項（ア）（イ）

外国語によるコミュニケーション能力の育成のための、語学学習支援の取組及び外国語で専門科目の授業を行う上での制度設計については、どのような学生に具体的にどのような支援を図り、結果として目指すコミュニケーション能力の育成が達成されたのか等、制度設計の中長期的な検証を期待する。

[4] 地域での体験学習や学外学習活動

・年度計画〈4〉実施事項（ア）（イ）

地域での体験学習や学外学習活動のための、「基幹演習C」の実施及び次年度に向けての改善については、地域課題解決、地域人材の育成を重要視するのであれば、より多くの学生が履修できるような科目等のあり方について検討願いたい。

[9] 教職関連の就職を目指す学生の就職支援

- ・年度計画〈12〉実施事項（ウ）（エ）

教職関連の就職を目指す学生の就職支援のための、学生のニーズ調査結果の分析、取組の見直し・検討及び着手、改善に向けた検討については、現在、各地域で現場の教員数の不足に悩んでいることもあり、地方行政等と連携した教職支援の取組の拡充に努められたい。

研究に関する目標

[14] 研究の質の向上と研究環境の整備

- ・年度計画〈17〉実施事項（イ）

研究の質の向上と研究環境の整備のための、新たな研究支援策を実施するための方策の検討については、更なる研究の質の向上や研究成果の地域還元を目指し、早期のサバティカル制度の実施に努められたい。

国際化に関する目標

[23] 地域社会における国際交流活動の推進

- ・年度計画〈25〉実施事項（イ）

地域社会における国際交流活動の推進のための、留学生とホストファミリーの交流については、ホームステイは単なる「宿泊先」ではなく双方にとって異文化の日常を肌で実感することができる貴重な機会であるため、民泊での代替ではなく、ホストファミリー確保のための取組の強化に軸足を置いていただきたい。

業務運営の改善及び効率化に関する目標

[29] ハラスメント防止・対策の徹底

- ・年度計画〈35〉実施事項（ア）（イ）

ハラスメント防止・対策の徹底のための、教職員の意識改革を図る自己点検については、教職員のハラスメントアンケートの回答率が100%となるよう、今後の実施について検討されたい。

財務内容の改善に関する目標

[36] 長寿命化計画に基づく施設設備の整備と有効活用

- ・年度計画〈46〉実施事項（ウ）

長寿命化計画に基づく施設設備の整備と有効活用のための、図書館ブラウジングホールの有効活用の検討・実施については、学生の利用に支障がない範囲で、一般への

貸出を行う等の検討・実施がなされることを期待する。

なお、計画段階では「検討」に留まっていた項目において、「実施」へと発展させた積極的な姿勢が見受けられ、これは評価すべき成果と言える一方で、当初より「検討」に留めず「実施」を計画に含めることが可能であったとも考えられる。

今後は、計画策定段階において実現可能性を十分に検討して目標設定を行うことで、大学全体の更なる発展につなげることを期待する。

3 項目別評価

<評価結果の概要>	S	A	B	C	D
(1) 教育に関する目標		○			
(2) 研究に関する目標			○		
(3) 地域貢献に関する目標			○		
(4) 国際化に関する目標			○		
(5) 業務運営の改善及び効率化に関する目標			○		
(6) 財務内容の改善に関する目標			○		
(7) 自己点検・評価及び情報公開・提供に関する目標			○		
(8) 大学改革に関する目標			○		

(1) 教育に関する目標

評価	判断理由
A 中期計画の進捗は順調	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が3.5以上4.2以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[1] 教養教育における「国際文化学」の体系化	〈1〉 ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[2] 外国語によるコミュニケーション能力の育成	〈2〉 ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈2〉 イ	Ⅲ			
[3] 他機関から講師等を招いて実施する授業や学習活動	〈3〉 ア	Ⅲ	Ⅲ	D 2	4
	〈3〉 イ	Ⅲ			
[4] 地域での体験学習や学外学習活動	〈4〉 ア	Ⅲ	Ⅲ	D 2	4
	〈4〉 イ	Ⅲ			
[5] 教員の教育能力の向上と教育の質の改善・向上	〈5〉 ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈5〉 イ	Ⅲ			
[6] 優秀な学生の確保と県内出身者の入学促進	〈6〉 ア	Ⅲ	Ⅲ	D 1	4
[6] 優秀な学生の確保と県内出身者の入学促進	〈7〉 ア	Ⅲ	Ⅲ	D 1	4
	〈7〉 イ	Ⅲ			
[6] 優秀な学生の確保と県内出身者の入学促進	〈8〉 ア	Ⅲ	Ⅲ	D 1	4
[7] 就職・キャリア支援と県内企業の認知度向上	〈9〉 ア	Ⅲ	Ⅲ	D 1	4
	〈9〉 イ	Ⅲ			
[7] 就職・キャリア支援と県内企業の認知度向上	〈10〉 ア	Ⅲ	Ⅲ	D 1	4

個別記載事項	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[8]教職に関する学生の資質向上	〈11〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈11〉イ	Ⅲ			
[9]教職関連の就職を目指す学生の就職支援	〈12〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈12〉イ	Ⅲ			
	〈12〉ウ	Ⅲ			
	〈12〉エ	Ⅲ			
[10]心身の健康に係る支援や障がいのある学生への支援	〈13〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈13〉イ	Ⅲ			
[11]経済的支援の充実及び「授業料減免及び給付型奨学金」への対応	〈14〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈14〉イ	Ⅲ			
[12]個々の学生に対応した履修相談や学習相談	〈15〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈15〉イ	Ⅲ			
合計					52
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.5

(特筆すべき点)

- ・特になし

(遅れている点)

- ・特になし

(2) 研究に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画の進捗は概ね 順調【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が 2.7 以上 3.4 以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[13]各種助成事業を活用した研究活動の活性化	〈16〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[14]研究の質の向上と研究環境の整備	〈17〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈17〉イ	Ⅲ			
[15]研究成果の地域社会への還元	〈18〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[15]研究成果の地域社会への還元	〈19〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
合計					12
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.0

(特筆すべき点)

- ・特になし

(遅れている点)

- ・特になし

(3) 地域貢献に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画の進捗は概ね 順調【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が 2.7 以上 3.4 以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[16] 地域貢献に関する基本方針の見直し ※ 令和元年度をもって終了	—	—	—	D 3	—
[17] 地域の政策課題・産業界のニーズに即した研究・ 教育活動の展開	〈20〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 2	4
	〈20〉イ	Ⅲ			
[18] ニーズに即した生涯学習事業の推進	〈21〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈21〉イ	Ⅲ			
[19] 地域の多様な学習ニーズに対応したリカレント 教育の推進	〈22〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈22〉イ	Ⅲ			
合計					10
項目別の評点平均値 (合計値÷個別記載事項の数)					3.3

(特筆すべき点)

- ・特になし

(遅れている点)

- ・特になし

(4) 国際化に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画の進捗は概ね 順調【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が 2.7 以上 3.4 以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[20]国際交流に関する基本方針の見直し ※ 令和元年度をもって終了	—	—	—	D 3	—
[21]新たな海外協定校の開拓	〈23〉ア	Ⅳ	Ⅳ	D 3	3
[22]留学生の受入れプログラムの充実	〈24〉ア	Ⅳ	Ⅳ	D 3	3
[23]地域社会における国際交流活動の推進	〈25〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈25〉イ	Ⅲ			
[24]市内の小・中学校等の教育機関と連携した教育研究活動	〈26〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈26〉イ	Ⅲ			
合計					12
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.0

(特筆すべき点)

[21]新たな海外協定校の開拓

〈23〉公費派遣留学の内容の検証

(ア) 公費派遣留学全体の検証として、前年度留学生からの報告書を基に、報告書の様式や提出方法のほか、公開範囲を見直し、留学を希望する学生や広報のために活用することを決定した。また、より学生のニーズに合った留学プログラムを提供可能な新規協定校の開拓を検討し、米国シアトルのグリーンリバーカレッジと学術交流に関する基本合意書を締結した。

[22]留学生の受入れプログラムの充実

〈24〉留学生受け入れプログラムの改善策の検討

(ア) 留学生受け入れプログラムの改善策の検討として、令和5年度から採用した日本語教員を中心に留学生受け入れプログラムの見直しを行い、韓国、中国から計43名の留学生を受け入れた。また、事後アンケートも実施し、次年度の改善につなげることにした。

(遅れている点)

- ・特になし

(5) 業務運営の改善及び効率化に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画の進捗は概ね 順調【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が 2.7 以上 3.4 以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[25]適切な意思決定と組織及び業務運営の改善	〈27〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈27〉イ	Ⅲ			
[26]優秀で多様な教職員の確保と評価制度の導入・実施	〈28〉ア	Ⅱ	Ⅱ	D 2	3
[26]優秀で多様な教職員の確保と評価制度の導入・実施	〈29〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 2	4
[26]優秀で多様な教職員の確保と評価制度の導入・実施	〈30〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 2	4
	〈30〉イ	Ⅲ			
[26]優秀で多様な教職員の確保と評価制度の導入・実施	〈31〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 2	4
[27]教職員の能力及び資質向上への取組	〈32〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈32〉イ	Ⅲ			
[28]法令遵守の徹底による適切な大学運営の実施	〈33〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈33〉イ	Ⅲ			
[28]法令遵守の徹底による適切な大学運営の実施	〈34〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[29]ハラスメント防止・対策の徹底	〈35〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈35〉イ	Ⅲ			
[30]災害等の有事における危機管理への対応	〈36〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈36〉イ	Ⅲ			
	〈36〉ウ	Ⅲ			
[31]個人情報をはじめとする情報管理への対応	〈37〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈37〉イ	Ⅲ			
[31]個人情報をはじめとする情報管理への対応	〈38〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
合計					39
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.3

(特筆すべき点)

- ・特になし

(遅れている点)

[26] 優秀で多様な教職員の確保と評価制度の導入・実施

〈28〉教員評価（案）の検討・策定

(ア) 教員評価（案）の検討・策定として、複数の評価の手法及び評価結果の活用方法が考えられることから、他大学の取組を参考に比較検討が行われているが、策定には至っていない。

(6) 財務内容の改善に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画の進捗は概ね 順調【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[32]経費の削減及び効果的な予算編成	〈39〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈39〉イ	Ⅲ			
	〈39〉ウ	Ⅲ			
[33]安定的な志願者及び入学者の確保	〈40〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈40〉イ	Ⅲ			
[33]安定的な志願者及び入学者の確保	〈41〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈41〉イ	Ⅲ			
	〈41〉ウ	Ⅲ			
[33]安定的な志願者及び入学者の確保	〈42〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[33]安定的な志願者及び入学者の確保	〈43〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈43〉イ	Ⅲ			
[34]産学官等との連携による寄附講座の開設	〈44〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[35]研究活動における外部資金の獲得	〈45〉ア	Ⅳ	Ⅳ	D 3	3
	〈45〉イ	Ⅳ			
[36]長寿命化計画に基づく施設設備の整備と有効活用	〈46〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈46〉イ	Ⅲ			
	〈46〉ウ	Ⅲ			
[37]計画的な情報システムの整備と有効活用	〈47〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈47〉イ	Ⅲ			
	〈47〉ウ	Ⅲ			
合計					27
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.0

(特筆すべき点)

[35]研究活動における外部資金の獲得

<45>研究活動における外部資金の獲得に向けた公募情報や採択事例の積極的な周知及び応募支援

(ア) 科学研究費の積極的な応募については、目標値を上回る、9件の応募が行われ、そのうち3件が採択された。

(イ) 科学研究費以外の外部の研究助成事業の積極的な応募については、目標値を上回る7件の応募が行われ、そのうち4件が令和5年度中に採択された。

(遅れている点)

・特になし

(7) 自己点検・評価及び情報公開・提供に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画の進捗は概ね 順調【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が 2.7 以上 3.4 以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[38]法人評価と認証評価を通じた改善活動	〈48〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈48〉イ	Ⅲ			
	〈48〉ウ	Ⅲ			
[38]法人評価と認証評価を通じた改善活動	〈49〉ア	Ⅳ	Ⅳ	D 3	3
[39]適切な情報公開と認知度向上に向けた広報活動の展開	〈50〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[39]適切な情報公開と認知度向上に向けた広報活動の展開	〈51〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈51〉ア	Ⅲ			
合計					1 2
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.0

(特筆すべき点)

[38]法人評価と認証評価を通じた改善活動

〈49〉評価結果に基づく改善策の検討

(ア) 令和4年度に受審した大学教育質保証・評価センターによる認証評価の評価結果に基づく改善策の検討として、教学マネジメント委員会の設置、宮崎公立大学教員連絡会取扱要綱の制定、次期認証評価に向けた学内の各種データの集約・整理等、学長のリーダーシップのもと早急に改善できる項目について取組を進めた。

(遅れている点)

・特になし

(8) 大学改革に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画の進捗は概ね 順調【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が 2.7 以上 3.4 以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[40]時代の変化に対応した教育改革	〈52〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈52〉イ	Ⅲ			
合計					3
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.0

(特筆すべき点)

- ・特になし

(遅れている点)

- ・特になし